

関西バイオものづくりフォーラム2022

ーバイオ戦略の実現に向けてー

日時

2022年3月16日（水）

13:30-17:30

参加無料

会場

WEB開催

バイオテクノロジーとデジタル技術の進展により、生物機能を最大限に活用した新たな「バイオものづくり」が生まれ、次世代を担う産業として注目を集めています。関西は、バイオ戦略において、「グローバルバイオコミュニティ」の認定候補地として取り上げられ、生物・化学・素材系などの企業や大学・研究機関の集積をいかした、バイオエコノミー社会の実現に向けた活動が期待されています。

本フォーラムは、バイオものづくり関連技術の実用化・事業化に向けた取組の創出・促進、先行事例及び有望技術の内容を踏まえた地域への普及啓発を目的として開催いたします。



➤ **ご講演① 13:35-14:05**

「経済産業省における今後のバイオ政策の方向性について」

経済産業省 商務・サービスG 生物化学産業課 課長補佐（総括担当）
（併）大臣官房スタートアップ創出推進室付 保田 友晶 氏



➤ **ご講演② 14:05-14:35**

「バイオコミュニティ関西 (BioCK)

～「つなぐ」「つなげる」「つながる」・集積から連携へ～」

NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議 副理事長 坂田 恒昭 氏



➤ **ご講演③ 14:35-15:05**

「バイオコミュニティ関西『分科会』における連携一盛り上げよう関西！」

大阪大学大学院 工学研究科 教授 大政 健史 氏

➤ **ご講演④ 15:15-15:45**

「合成生物学とバイオファウンドリ開発動向」

神戸大学 副学長 科学技術イノベーション研究科長・教授
理化学研究所 環境資源科学センター 副センター長 近藤 昭彦 氏



➤ **ご講演⑤ 15:45-16:15**

「バイオファーストに向けたバイオ生産マネジメントシステムの構築」

京都大学大学院 農学研究科 応用生命科学専攻 教授 小川 順 氏



➤ **ご講演⑥ 16:15-16:45**

「バイオものづくりNEDOプロジェクト動向」

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
材料・ナノテクノロジー部 バイオエコノミー推進室 矢追 克郎 氏



➤ **ご講演⑦ 16:45-17:15**

「バイオファウンドリを中心とした合成生物学の産業クラスターの創生」

株式会社バックス・バイオイノベーション 代表取締役社長 丹治 幹雄 氏



➤ **ご講演⑧ 17:15-17:25**

「産業界がバイオファウンドリに寄せる期待 ～バイオファウンドリ活用可能性調査～」

株式会社ダン計画研究所 産業グループ 研究員 辻 雄介 氏

「経済産業省における今後のバイオ政策の方向性について」

バイオ分野の民間投資が世界的に急増する中、日本が国際競争を勝ち抜くためには、産学官の連携の下に、従来の延長線上より踏み込んだ対応をとる必要がある。本日の講演では、デジタル、経済安全保障、グリーン成長、ワクチンなどのキーワードとともに、経済産業省における今後のバイオ産業政策の方向性について紹介する。

「バイオコミュニティ関西 (BiocK) ～「つなぐ」「つなげる」「つながる」・集積から連携へ～」

2019年6月「バイオ戦略2019」、2020年6月に「バイオ戦略2020」が内閣府により策定され、その基盤的施策の中でグローバルバイオコミュニティ・地域バイオコミュニティの形成が謳われている。関西圏においても民・官による投資、特に海外からのを促進するためにネットワーク組織であるバイオコミュニティ関西 (BiocK) が2021年7月に設立された。「バイオ戦略2020」には日本が目指すべき社会像と注力すべき9つの市場分野が示されている。BiocKではその実現のために委員会と、実行のための分科会を立ち上げている。本講演ではBiocKの現在の取り組みを講演する。

「バイオコミュニティ関西『分科会』における連携一盛り上げよう関西！」

古くから関西地区はバイオテクノロジーが伝統的に盛んな地域として知られています。本講演では、関西の元気なものづくりバイオテクノロジーとそのネットワークとしてのバイオコミュニティ関西『分科会』における連携について紹介し、元気なバイオコミュニティを関西で皆さんと一緒に盛り上げたい。

「合成生物学とバイオファウンドリ開発動向」

バイオエコノミーが急拡大している。これは、ゲノムの超高速解読技術、代謝工学技術、ゲノム合成・編集等のゲノム工学技術等の合成生物学技術が急発展したこと、さらにこれらがIT、AI技術やロボット技術と融合（「バイオ×デジタル」融合）して、革新的なバイオファウンドリ技術を誕生させていることによる。本講演では、開発動向を述べる。

「バイオファーストに向けたバイオ生産マネジメントシステムの構築」

バイオファーストの実現には、バイオ技術の社会実装確率を向上せねばならない。そのために必要となる生産の効率化、育種技術の高度化、バイオリソースの拡充、また、関連する技術要素を多面的かつ並列的に組み上げるための新たな開発マネジメント手法、さらには、様々な取り組みの情報技術による共有・統合など、今後構築すべき基盤を議論したい。

「バイオものづくりNEDOプロジェクト動向」

NEDOは、「持続可能な社会」、「well beingの社会」の実現を目指し、イノベーションアクセラレーターとして産学官連携による技術開発プロジェクトを推進している。2019年にはバイオエコノミー推進室を設置し、バイオエコノミー社会の実現を目指した研究開発事業を実施している。本講演では、現在進めているバイオもの作り関連のプロジェクトを中心に紹介する。

「バイオファウンドリを中心とした合成生物学の産業クラスターの創生」

グリーン成長による持続成長可能な社会の実現へ向け、バイオエコノミーが急速に加速している。神戸大学の研究成果を活用した、バイオ・デジタル・AI・ロボティクスの融合により多様な宿主・物質を対象とするバイオファウンドリを運営するバツカス・バイオイノベーションを中核として、関西圏を中心に、新しいものづくりを実現する多様な企業群を包含した一大産業クラスターを創生する。

「産業界がバイオファウンドリに寄せる期待 ～バイオファウンドリ活用可能性調査～」

令和3年度、近畿経済産業局事業において、関西地域のバイオものづくり関連技術に取り組む企業・アカデミアの現状把握、バイオファウンドリの活用ニーズに関する調査を行った。調査結果から見てきた、関西のバイオファウンドリに対する産業界のニーズを中心に報告する。

参加費 無 料 申込 <https://kinkibio.com/> 締 切 2022年3月15日（火）

主 催 経済産業省近畿経済産業局



こちらからもお申込みいただけます

共 催 バイオコミュニティ関西 (BiocK)
一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン (LINK-J)

お問合せ：NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議 担当：高田清文・大嶋真由子

〒541-0048 大阪市中央区瓦町4丁目8番4号 井門瓦町第2ビル3F
TEL：06-4963-2107 FAX：06-4963-2127 E-mail：moshima@kinkibio.com